Makna Ontologis Uang dan Relasinya dengan Hati Manusia dalam Terang Teks Kitab Suci

お金は単なる交換手段や経済的な物ではなく、人間が世界、隣人、そして神とどのように関わるかを表す現実の一つです。

存在論的に見るならば、お金は人生の最終目的ではなく、手段です。お金は神から与えられた恵みを管理する責任のしるしとなります。

しかし、お金が人生の中心となり、神の場所を占めるなら、人間を自由から遠ざけるものになります。

聖書：「だれも二人の主人に仕えることはできない。神と富とに仕えることはできない。」（マタイ6:24）

イエスは貧しいやもめの献金を称賛されました。
「この貧しいやもめは、だれよりも多く入れた。」（ルカ21:3）

神の前でのお金の価値は量ではなく、愛と信仰と心の自由によって決まります。

「あなたの宝のあるところに、あなたの心もある。」（マタイ6:21）

お金は愛を表すための手段であり、人間の心を支配する主人ではありません。